

活動報告

1. 役員会

第 46 回定期役員会の開催

第 46 回評議員会および理事会が 2011 年 3 月 15 日（火）に開催されます。平成 23 年度の事業計画および予算等が審議される予定です。また、本年 3 月末で任期満了となる理事、監事及び評議員の改選が行われる予定です。

平成 22 年度の決算及び事業報告を審議する第 47 回定期役員会を 2011 年 6 月 16 日（木）に開催することが決まりました。

なお、ホームページに平成 21 年度決算書、事業報告書、平成 22 年度事業計画書、予算書などを掲載しています。

(<http://www.iti.or.jp/jigyou.htm>)

2. 最近のプロジェクト・調査研究活動から

(1) 研究会活動

平成 22 年度も第 4 四半期に入り、各研究会も報告書のとりまとめなどで精力的に活動しています。主な研究会では活動の成果として年度末まで

には報告書を作成することとしています。今年度の主だった報告書（予定）を挙げれば、次のとおりです。

- ① 東アジアの FTA 網と物流インフラ整備の現状
- ② ベトナム経済の現状、課題と発展の方向
- ③ 貿易が我が国の経済成長に与えた産業別影響～日本産業連関経済モデルによる検証分析
- ④ わが国産業構造の変化の方向を探る～産業部門別効率性の長期分析

など。

(2) 調査研究報告書

次の資料を刊行しました。

- ・「世界主要国の直接投資統計集（2010 年/2011 年版）I．概況編（平成 22 年 12 月）」

1998 年度以降の調査研究の成果報告書の要旨をホームページの「最近の

研究業績」に掲載しています。

<http://www.iti.or.jp/reports.htm>

(3) 研究成果などの活用

- ・環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への我が国の参加を巡り国内で侃々諤々の議論が続いています。この熱い議論を映したように、当誌 81号掲載の「環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）の概要と意義」（石川幸一客員研究員（亜細亜大学教授）執筆）のアクセス件数が正にウナギ登りで急増しています。TPP については、当研究所としても引き続き注意深くウオッチし、随時、研究成果を当誌等を通じ発信していきたいと思えます。
- ・TPP では石川客員研究員が次の講演を行いました。
 - 12月21日 協和協会「TPP の概要と意義」
 - 2月9日 農業担い手サミット「TPP とは何か」
 - 2月14日 外交研究会「TPP につ

いて」

3月4日 日本経済研究センター（大阪支部）「TPP の概要と日本」

- ・掲載論文の反響に戻ると、夏目美詠子客員研究員の「リーマンショック後のトルコ～浮かび上がった強みと弱み」（81号）も掲載後、複数の雑誌社からトルコについてインタビューの申し込みと執筆依頼が来ました。また、海外のマスコミも読んでいただいているのでしょうか。韓国放送公社のKBSから鬼塚義弘客員研究員に“世界は今”の番組制作の協力依頼が入りインタビューをお受けしました。「拡大する二セコの外国系企業—二セコは国際リゾートを目指す」（71号）などの著作がある鬼塚客員研究員に「二セコでの外国資本の開発」などについて意見を聞きたいというものでした。韓国でも読んでいる人がいるとは嬉しい限りです。

次の本誌掲載論文等は、JKA の補助事業の成果の一部を活用している。

- ・オバマ政権の対中国経済戦略の特徴
- ・縮小する構造下にある日本の GDP

（小林東策）